

2026年9月19日

2026年9月卒業式祝辞

只今ご紹介いただきました早稲田大学校友会代表幹事の萬代でございます。校友会を代表いたしまして、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

さて、本日ご卒業の皆さん、そしてこれまで皆さんを支えて来られたご家族・ご親族の皆様、ご卒業、誠におめでとうございます！！

多くの皆さんが入学された2022年9月は、未だ新型コロナウイルス感染症による社会的影響が残っているときでした。勉学や課外活動を始める学生生活を継続する上で多くのご苦労があったことと思います。そして、本日皆さんは特別な思いで卒業式を迎えられたことでしょう。それ故、校友会の代表として卒業生の皆さんを心からお祝いをするとともに、是非メッセージをお届けしたいという熱い気持ちで一杯です。

さて、皆さんは、卒業と同時に全員の方がもれなく早稲田大学の校友となり、校友会の会員となります。この機会に、早稲田大学校友会について少しご説明をさせていただきます。早稲田大学では卒業生を「校友」と呼びます。そして「校友会」とは早稲田大学卒業生による同窓会組織になります。

早稲田大学校友会は、1885年（明治18年）に誕生しました。早稲田大学の前身である「東京専門学校」が1882年に創設され、1884年に早くも第1回卒業生11名、1885年には67名の卒業生を送り出しました。そして、1885年に校友会が産声をあげました。その後、「東京専門学校」は早稲田大学に改称し、以来、校友会は早稲田大学の歴史に寄り添い、思いを共にしながら、今日に至ります。わずか数十名の校友からはじまった早稲田大学校友会は現在会員数70万人を数え、日本を代表する同窓会組織として発展しました。昨年12月には設立140周年という節目を迎えました。

校友会の活動方針は、母校そして後輩である現役学生に対する支援と、校友相互の人脈づくりや親睦を図ることにあります。現在の組織は大学内に本部を置き、田中総長を校友会会長に頂き、約60名の幹事団が中心となって運営しています。母校への支援として毎年2億円から3億円程度を、奨学金を中心とする現役学生への支援のほか各種支援に充当しています。

また、日本全国の地域、年次、職域、海外など約1,400の稲門会が組織され、活発に活動しています。早稲田の誇りはこの70万人の校友のパワーです。企業人・経営者をはじめ、総理大臣から地域の世話役、政治家、官僚、法曹、スポーツ、作家、芸術家、医者、メディア等々、日本はもとより世界中のありとあらゆる分野で校友が活躍しており、社会に貢献しています。このような早稲田の校友の多様性が早稲田の活力であり誇りです。

かつては校友会の組織はとすると男性が中心を占めてきたイメージがありますが、本日ご卒業されるみなさんの顔ぶれが多様性に満ちているのと同じように、近年は校友会組織のあり方も大きく変貌しつつあります。性別、障がい、国籍などの違いにかかわらず、あらゆる校友が安心してこちよく校友会活動ができる場所づくりを目指しております。ダイバーシティの尊重は校友会にとってもっとも重要な価値観のひとつと考えています。

また、本日の卒業式には留学生のみなさんも多いと思います。早稲田大学校友会は皆さんを心から歓迎します。様々な国の卒業生が集う早稲田大学校友会の多様性は私たちの力であり、皆さんの存在は私たちの大きな誇りです。日本でもっとも国際化が進む大学の校友として、皆さんがこれから校友会の一翼を担い、母校と世界をつなぐ架け橋となってくださることを大いに期待しています。異なる文化や視点をもつ皆さんだからこそ、国際社会で大きな力を発揮されることでしょう。どうか母校で培ったたくましい知性としなやかな感性に磨きをかけて、世界のさまざまな場所で活躍し、光輝いてください。

また、これから皆さんが実社会で活躍される中で、人材の宝庫・早稲田大学校友会の組織とネットワークをぜひ活用してください。日本はもとより世界各地、各業界、各卒業年次など様々な稲門会が卒業生の皆さんをお待ちしています。各稲門会の連絡先は校友会のホームページに掲載されていますので、是非、稲門会の扉を叩いて私たちの仲間に加わってください。そして、ゆくゆくは母校の後輩である現役学生たちの力強い応援団としても温かいご支援をいただければと願っております。

私たち校友会は、「心の故郷（ふるさと）、早稲田」とともにあり続けたいと願っています。校友会はあらゆる立場の校友の皆様に広く扉を開いて、参加をお待ちしています。

校友会のキャッチフレーズは「ともに世界へ ともに未来へ」です。卒業生の皆さん、世界へ！未来へ！力強く羽ばたいてください！！卒業5年後に皆さんを大学にご招待するホームカミングデーで再会できることを心から楽しみにしています。

なお、私事となりますが、田中総長と同様に９月２０日をもって校友会代表幹事を退任致します。
２０１８年から８年間、卒業生の皆さんを送ってきましたが、今日で最後となりますので特別な思い
でいます。

今後もこれまで培った早稲田の絆を大切に、母校および後輩の皆さんへの支援に取り組んでまいり
たいと思っています。

あらためて、早稲田大学校友会へようこそ！

そしてご卒業おめでとうございます。

以 上